

原子力施設におけるトピックス
(平成29年10月2日～10月8日)

平成29年10月11日
原子力規制庁

主要な原子力事業者(*)の原子力事業所内で平成29年10月2日～10月8日の間に発生した以下に該当する事案は、下表のとおり。

- 原子炉等規制法第62条の3に基づく報告事案(発生に係る報告に限る)
- 保安規定に定める運転上の制限から逸脱した事案
- 原子炉等規制法第62条の3に基づく報告事項に該当しないが安全確保に関係する事案で、事業者がプレス公表したもの

*……原子力発電所を所有する電気事業者、日本原子力研究開発機構及び日本原燃(株)

発表日	事業者名	事業所名	件名	備考
10月5日	四国電力株式会社	伊方発電所	伊方発電所3号機1次冷却材系統の水抜き作業用ホース接続部からの水漏れについて	法令報告対象外

(事案の概要は、別紙参照)

<参考> 海外の原子力施設におけるトピックス
該当なし

平成 29 年 10 月 5 日
四国電力株式会社

伊方発電所 3 号機 1 次冷却材系統の水抜き作業用ホース接続部 からの水漏れについて

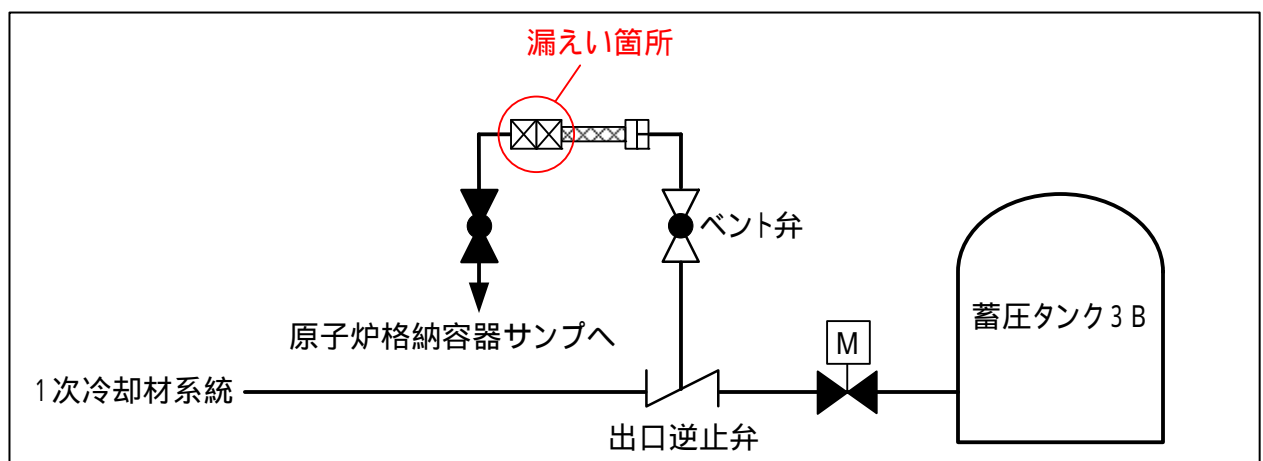
定期検査中の伊方発電所 3 号機（加圧水型、定格電気出力 89 万キロワット）の原子炉格納容器内（管理区域内）において、本日 11 時 30 分頃、蓄圧タンク 3 B 注入系統の水抜き作業用ホースの接続部より 1 次冷却材系統水が漏れいしていることを確認しました。その後、ベント弁を閉止したことから、漏れいは停止しています。

なお、漏れい水は、原子炉格納容器内に留まっており、漏れい量は、約 530 ミリリットル、含まれる放射エネルギーは最大 140 万ベクレルでした。（いずれも推定値）

本事象によるプラントへの影響および環境への放射能の影響はありません。

以上

【伊方発電所 3 号機 蓄圧タンク 3 B 注入系統概略図】



（四国電力株式会社HP掲載）

平成29年10月6日
四国電力株式会社

伊方発電所3号機1次冷却材系統の水抜き作業用ホース接続部
からの水漏れについて（続報）

定期検査中の伊方発電所3号機（加圧水型、定格電気出力89万キロワット）の原子炉格納容器内（管理区域内）において、10月5日11時30分頃、蓄圧タンク3B注入系統の水抜き作業用ホースの接続部より1次冷却材系統水が漏れいしていることを確認しました。その後、ベント弁を閉止したことから、漏れいは停止しています。

なお、漏れい水は、原子炉格納容器内に留まっており、漏れい量は、約530ミリリットル、含まれる放射エネルギーは最大140万ベクレルでした。（いずれも推定値）

本事象によるプラントへの影響および環境への放射能の影響はありません。

（10月5日、お知らせ済み）

調査の結果、水抜き作業用ホースからの漏れいであることを特定し、当該ホースを取り替え、本日13時30分、通常状態へ復旧しました。

以上

【伊方発電所3号機 蓄圧タンク3B注入系統概略図】

